

# 拓ひらけわたしたちの未来



田中俊博さん

佐藤麗さん

山岸優介さん

奥野大地さん

明けましておめでとうございます。  
もうすぐ市制施行50周年を迎える守山市の人口は83,714人(11月30日現在)。  
50年前の約2.5倍になり、子どもの数も増えています。  
自分の未来を切り拓いていこうとする子どもたちの力強い輝きが、  
現在のまちを創り、未来をも創造していきます。  
市の行事やイベントなどにも積極的に参加し、社会の一員として自覚と誇りを持ちながら、  
活動をとおして一人ひとりがたくましく未来を切り拓いていく力をつけ、  
成長を続けているボーイスカウト守山第1団とガールスカウト滋賀県第15団の子どもたちに話を伺いました。



松下美優さん

木戸脇光里さん

瀬尾あおいさん

富沢絢花さん

ボーイスカウトとガールスカウトを代表して、8人の子どもたちが市役所に集まってくださいました。さっそくインタビューをはじめます。



●スカウト活動に入ったきっかけはなんですか。活動のどんなところが魅力ですか。

富沢 絢花さん(小学6年)

女の子みんなでいろいろなことにチャレンジするのが楽しかったから入りました。

田中 俊博さん(小学4年)

お兄ちゃんが入っていて、ロープとかグッズを触っていたら「そんなに好きならやってみたら」と言われました。

夜間ハイキングとか、すごくキツイと思う事もあるけれど友達も増えたしやっぱり楽しい。

奥野 大地さん(中学1年)

ヒマだし、遊びたいなああと軽い気持ちで体験してみたら、パン作りとかマジ割りとか楽しかったので入りました。

人と一緒に行動するとか、状況を判断するとか、基本的な生活スキルが身につけてきたと思います。

木戸 脇光里さん(小学6年)

スカウトに入る前は、料理が苦手でお母さんの手伝いもあまりしていませんでした。ほかの小学校の友達もできました。

佐藤 麗さん(小学4年)  
身の回りにあるものを使って、工夫して倒れている人を助ける救急訓練の活動が好きです。いざという時も…ちよつとだけ自信あります。



●2020年はどんな一年にしたいですか。

山岸 優介さん(中学2年)

春から中学3年生で受験だけど、活動もがんばって、スカウトの先輩としての姿を見せていきたいと思っています。

松下 美優さん(小学6年)

春から中学生になります。スカウトもジュニアからシニアに上がるので、下の子たちを助けられるようになりたい。あと、勉強も得意じゃないけれどがんばります。

田中 俊博さん

友達とやっている野鳥観察で、25種類を見つけてます。カブスカウトの活動中に野鳥を見つけていることもあるんですよ。

瀬尾 あおいさん(小学6年)

ガールスカウトの活動で皆勤賞や精勤賞を狙います。

●10年後、20年後、50年後の自分はどのようになっていると思いますか。守山はどんなまちになっていてほしいと思いますか。

松下 俊さん

10年後は大学生。ガールスカウトのヤングリーダーになつていてと思います。50年後の守山は警察がなくてもよいくらい平和になっていたらいいな。

佐藤 麗さん

お母さんの足を治せる医療機器を開発する博士になりたいと思っています。

●ボーイスカウト、ガールスカウトの皆さんから市民に新年のメッセージをお願いします。

山岸 優介さん  
守山はマンションとかが増えているけれど、お寺とか神社とか、昔からあるものも大切に残しておいて欲しいです。

田中 俊博さん  
ぼくの通う学校の近くにある野洲川が二度と決壊しなければよいと思う。将来は医者か爬虫類の博士になる。

ながお てるひろ  
**長尾 晃裕団委員長**  
ボーイスカウト守山第1団では90人のスカウトがいます。ロープワークやキャンプなど野外活動を中心に、さまざまな事にチャレンジしています。カブ隊やボーイ隊、ベンチャー隊などがありますが、守山ならではのピワイチや夜間ハイキングでは、厳しさの中で異年代との助け合いや交流によって協調性や社会性を身につけています。赤い羽根募金など街頭での募金活動をしている姿や、ブースを構えて竹パン作りやクラフト作りのボランティア活動をしている姿を見掛けたら、ぜひ子どもたちを応援してあげてください。

スカウト運動とは20世紀初頭にイギリスではじまった青少年の教育を目的とした活動の事です。

こじま やすこ  
**小島 保子団委員長**  
ガールスカウト滋賀県第15団では、5歳から成人まで92人の女性が活動しています。成人会員やリーダーも含めて全員が「ガールスカウト」です。野外活動では、力仕事や火起こし、テント立てまで、協力し合いながら自分たちで取り組みます。ほかにもイベントの模擬店を通じて経済的な感覚を身につけたり、茶道やクラフト料理などもしています。何事も繰り返し、成功することで自信へとつなげています。また「自分自身とほかの人の幸福と平和のため」のさまざまな課題に取り組み、自ら考え行動できる、女性を目指しています。



ハイキング先で遊ぶ



ロープワークを学ぶ



スカウトパーティーでおもてなし



キャンプファイヤー